

いいね!

恵那市公式SNS

総務課 (内線 322)

ポーランドカヌーチーム オフショット

7月18日から31日まで、ポーランド共和国カヌーチームが、東京2020大会に向けた事前キャンプを市内で行いました。市公式SNSでは、練習に励む選手の勇ましい姿の他、練習の合間に見せるリラックスした様子を発信してきました。このコーナーでは、リラックスした笑顔の選手たちを紹介します。



①女子カヌーペア500㍎で銀メダルを獲得したアンナ選手(左)とカロリーナ選手(右) ②女子カヌーフォア500㍎で銅メダルを獲得したヘレナ選手(左前)、ユスティナ選手(右前)、カロリーナ選手(左後)、アンナ選手(右後) ③④恵那北中学校のテニスコートフェンスに飾られた応援フラッグは、市内の小中学校が作成しました ⑤～⑧宿泊施設内に設けた「日本文化体験ルーム」で、浮世絵の版刷りを体験 ⑨～⑫甲冑や刀を身にまといサムライ体験 ⑬⑭折り紙にもチャレンジ ⑮オンライン歓迎会で東美濃農業協同組合から贈られた地元産のトマトと一緒に



LINE



Facebook



Twitter



Instagram



YouTube



市公式アプリえ〜なび

iPhone Android

※個人情報等の管理上の懸念が一定程度払しょくされたとの国の判断が示されたことから、市公式LINEを7月1日から再開します



その他の話題もウェブサイトに満載

ニュースと話題 NEWS & TOPICS



7月16日

たくさんさんのグッズができて
うれしいんだナ

販売を求める多くの声を受け、市観光協会が、エーナぬいぐるみを発売しました。ぬいぐるみの他、エーナのイラスト入りクリアファイルやノート、鉛筆、トートバッグなどもあり、今後もバリエーションを増やす予定です。エーナグッズは、えなてらす、大正村浪漫亭などで購入できます。



7月12日

健康づくりに取り組む協定を
大塚製薬株式会社と締結

市と大塚製薬株式会社(本社東京都千代田区)は、健康づくり等に係る包括的連携協定を結びました。本年度は、教員や保育教諭、スポーツ指導員などを対象に熱中症対策アドバイザー養成講座を行い、熱中症対策の知識普及を目指します。今後、健康づくりや生活習慣病予防の推進、スポーツ振興などに取り組みます。



7月24日

ポーランドカヌーチームの
練習を市民ら400人が見学

ポーランドカヌーチームの公開練習が行われ、事前に申し込んだ市民らが、30分ごとの入れ替え制で練習を見学しました。選手は、木曾川に張られた1,000㍎のコースを何度も往復してトレーニング。見学した伊藤健一さん(明智町)は「ぜひポーランドチームを応援したいと思って参加しました」と話しました。



7月23日

奥矢作湖では
子どもたちがカヌー体験

ポーランドカヌーチームの気分を味わってもらおうと、申原体育協会主催のカヌー体験が、奥矢作湖で開催されました。参加者は、奥矢作レクリエーションセンターから1㍎下流の大野公園までを往復。参加した可知舜大君(大井町)は「これだけ長い距離を漕いだのは初めて。今度は釣りに来たいな」と笑顔で話しました。



8月3日

きれいな水と、おいしいアユ
澄ヶ瀬やなで川遊び

上矢作町の澄ヶ瀬やなで、上矢作こども園と申原こども園の園児が川遊びを楽しみました。子どもたちは「冷たくて気持ちいい」と、泳いだり水を掛け合ったりして大はしゃぎ。川遊びの後は、焼きたてのアユと五平餅も振る舞われました。上矢作こども園の小笹叶翔君は「アユのしっぽがカリカリでおいしかった」と笑顔を見せました。



7月30日

中野方町の資源回収拠点
オープン

市内8地区目の常設資源回収拠点が中野方コミセン北側にオープン。中野方町自治振興会、東栄製紙工業株式会社、市の三者が覚書に署名しました。オープンに先立って開所式が行われ、同振興会の柘植昭男会長は「ここでの収益を、地域の子どものために活用していきたい」とあいさつしました。